

# ピンクのチュチュをはいた男性 の心温まるストーリー

# 笑う門に福

第13号  
発行所  
〇〇クリニック  
編集部



どんな辛いときも笑うこと

この決して美しいとはいえないが、中年の男性がピンクのチュチュがなんとも風景とミスマッチで思わず笑ってしまった。素敵な話なのでご紹介。彼の妻、リンダさんは約10年前に乳がんを患いました。病と闘う彼女を笑わせたいという一心で、ポップさんはピンクのチュチュをはいて、その姿を写真に

収めはじめたのです。その写真はリンダさんに笑いとポジティブな気持ちを与えました。彼女はポップさんの撮った写真を携帯でほかの患者さんたちにも見せて、みんなですべて辛い治療を乗り越えたのです。その後、リンダさんはがんを再発するも克服。ポップさんの写真はインターネットで多くの人に知られるようになり、ますます。いまでは2人は非営利団体を立ち上げ、ポップさんの写真の販売を通じて、乳がん患者をサポートする活動

をしています。今日も、彼のピンクのチュチュ姿が、世界のどこかで誰かに笑顔をもたらしていることでしょう。原点には、どんなに辛いときにも笑うこと、そして、笑いを分かち合うことはできる。このポップさんの想いが込められています。インターネットからの情報でした。笑いの実践者がちやんといるのですね。奥さんへ向けて。それが世界中の人を笑わせて、元気づけている。素晴らしいです。

ポップさんの写真を見て、微笑んでしまった方は、思わず細胞が活性化して、免疫力が上がったこと間違いありません。今年は実際に笑えることにトライしていきたく、と考えています。笑いがいいだろうと知っている。その次は、やってみよう！ということで検討していきたく、前向きな積極性が治療効果を高めるらしいので、笑いたい。ぜひ参加ください。半裸でチュチュ姿でいらしても、大歓迎です。